



インドでの活動



12月16日 ムンバイ

戦後80年を迎える2025年に行う大きな平和イベント「HOPE80」。
マハトマ・ガンジーのひ孫であるトージヤ・ガンジーと共に活動するため、ミーティングを行いました。



なんとそのタイミングで、希望の戦士シリーズ第6弾『アルン・ガンジーの遺言』が公開されました。



『アルン・ガンジーの遺言 強国の暴力的な支配に勝つには?』

そしてそれを最初に、息子のトージヤ・ガンジーさんに観ていただくことができたのです。



12月17日 ブッダガヤ

6月に京都にも来られたナグプールの佐々井秀嶺上人のインドラ寺事務局長をされているアミットさんと合流し、現地でのアレンジをしていただきました。



2024年

2月18日 ブッダガヤ

世界遺産ブッダガヤ・大菩提寺事務局長Dr.Mahashweta Maharathiさんに希望の火に祈りを込め、メッセージをいただきました。



現地の翌日の新聞にも取り上げられました！



12月21日 ブッダガヤ

国際サンガフォーラム

ダライ・ラマ法王庁の呼びかけで、世界中のさまざまな仏教の僧が約2000人集まり、スピーチやディスカッションでお互いの理解を深めることを目的に、今回初めて開催された国際サンガフォーラム。希望の火国際委員会 遠藤暁及代表が招待され、スピーチや進行役を務めました。

まずは朝一番、チベットハウスジャパンのエリア代表のアレンジで、ダライラマ法王に謁見しました。



開会式はダライ・ラマ法王による祝福と法話が行われました。その後、3日間に亘って世界35ヶ国から集まった僧侶たちによるスピーチや質疑応答が続きます。



遠藤暁及代表も議長として進行を行いました。



「21世紀のユニークな仏法の伝え方」と題されたスピーチは、希望の火・タオ指圧 HOPEワークショップでも行う「氣」のワークも入り、非常に動きのあるもので、場の気は盛り上がり、会場は笑顔に溢れ、言葉を超えてとても心に響いたと後に多くの方からコメントをいただきました。

このスピーチは世界24か国に同時配信されました。



そして、最後の最後に、「希望の火」のライブ配信映像が京都から会場に映し出され、2000人の僧侶たちによって祈りが込められました。

